

市議会だより

大月市

令和4年8月31日発行 No.167

特集

対談／大月市小中校長会と大月市議会

ICT機器を活用した授業風景
(大月東中学校)

CONTENTS

- ・特集（対談）
【校長会と市議会】…………… P. 2～
- ・令和4年第2回（6月）市議会定例会
（主な議案の内容）…………… P. 4～
- ・議決結果等一覧表…………… P. 6
- ・代表質問／一般質問…………… P. 8～12
- ・意見書…………… P. 13
- ・議会日誌…………… P. 14

特集

『ICT教育×学校現場』

～子どもたちの未来のために今何ができるのか～

対談 大月市小中校長会 × 市議会

市内小中学校では児童生徒に1人1台端末や電子黒板等が整備され、ICTを活用した教育が始まっています。教育現場の状況や要望を伺うために学校現場に出向き意見交換会を行いました。デジタル教科書の拡充の必要性や今後の機器の更新についての課題なども認識しました。



社会文教常任委員会

- ・安藤久雄委員長
- ・奥脇一夫委員
- ・棚本晃行委員
- ・西室衛副委員長
- ・山田政文委員

応じて紙で渡したりしています。これらのことをやるのに研修も必要で、得意な先生はいるのですが、そこからどう広げていくかが課題です。まとまった時間を取ることは難しいので、週2回程度勤務時間終了後の10分、15分を使って研究し広げているところです。

*ICTとは、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称です。タブレット、電子黒板などICT技術を授業などに活用した教育のことを、ICT教育といいます。

ICTが本格導入されました。子どもたちや学校の現状を聞かせてください。【市議会】

取り組みを共有し、研修を行いながら進めています。今後も子どもたちと新たな学びの可能性を探って行きたいと思います。【校長会】

○ 大月東小が先進的な役割を
している聞いていますが、
様子を教えてください。
(市議会)

・ICTについて取り組みの状況を
紹介する「ICT(あいして)
る?」という冊子を作成し、市
内の全てのICTの担当者、校
長先生方にも共有しています。

また、今年から学習用デジタル教科書の一部の教科で使用しています。みんなが共通で見ることができるので、非常にメリットが大きいです。
授業以外の部分では、学級新聞や、児童会の活動もICTを活用しています。今年は児童総会も紙を持たずに1人1台端末を持ち込んでやってみました。
校務の部分でも欠席連絡、遅刻早退の連絡、朝の検温、それから学級日より、学校日より等全てオンライン化をしています。ただ、保護者の中でどうしても不慣れであったり、対応が難しい家庭もありますので、必要に



生徒が授業で使用している端末



大月市小中校長会の皆さん

るということが話題になって、教育委員会に相談をしながら、今年早速動いてもらったところ。障がいですから、子どもにとつては本当に苦しい。一生懸命勉強やりたいんだけど読めない。そういう子どもたちが安心して学べる環境を整えてあげて、児童生徒の主体的に学習しようとする意欲や態度を育てたいと思います。

○ SNSを使った勧誘など犯罪の
手口が複雑化していま
すが、情報モラル教育の
必要性についてどのように考
えますか?
(市議会)

・PTAと連携し、保護者と一緒に情報モラルを学習する機会が必要と考えています。中学校になるとSNSをめぐるトラブルですとか、犯罪に巻き込まれたりする可能性が高くなるので、十分気をつけなければいけないところもあります。その中で年に1回、学年ごとあるいは全校生徒を対象にスマホの利用に関する教室を講師に来ていただいでやっていきます。今年ではできなかったんですが、小学校から中学校に上がるにあたって入学説

○ 人数や学級数が少ない学校
で、どのようにICTを活
用されていますか?
(市議会)

明会等で保護者向けの啓発なども必要だと思っています。

・七保小学校の子どもたちと、上野原小学校、当時で40人くらいの規模のところとオンラインで交流をしました。以前、小規模な学校と大規模の学校が、直接交流するときには、小規模の学校の子どもたちが委縮してしまい、一緒に遊ぼうよと言っても遊べないんですね。ところがオンラインでやるときは、活発に意見交換をしていたし、かなり生き生きしていました。今後はオンラインで市内の学校を結び、交流を深めていくというのが必要になってくるだろうと思います。

例えば1人の教員がオンラインで各市内の学校と同時に授業するなど新しい取り組みを進めていく計画をしています。

○ 要望事項はありますか?
(市議会)

・既に端末が導入されて1年以

上が経ちました。4年後にはもう入れ替えの心配をしなければいけなくなると思います。ぜひ県あるいは国に我々の現場の声を届けていただけたらありがたいなと思っています。
またデジタル教科書が導入されていますがこの継続、あるいは他の教科への拡充も訴えていただけたらと思っています。
教育の機会均等という視点で、お力添えをいただけたらありがたいなと思っています。



授業風景 (大月東中学校)

こんな事が決まりました

6月3日～6月24日（22日間）

市長提出

- 報告・・・・・・・・・・1件
 - 補正予算案件・・・・・・・・2件
 - その他の案件・・・・・・・・4件
 - 人事案件・・・・・・・・・・2件
- ## 議会提出
- 意見書・・・・・・・・・・1件



今定例会の議案

主な議案の内容

報告

- ◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第1号）
国庫支出金により、新型コロナウイルススワクチン接種の体制を早期に確保するため追加の補正を行いました。
- 7、686万円
- ◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第2号）
国庫支出金により、国の総合緊急対策に基づく、低所得の世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給を早期に行うため追加の補正を行いました。
- 1、959万円

予算（補正）

- ◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第3号）
 - 主な歳出
 - ・コミュニケーション助成金 930万円
 - ・市内5団体が採択。
 - ・山梨県猫不妊・去勢手術助成金事業（県事業） 330万円
- ・富浜公民館建設事業 1億1、579万円
- ◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第4号）
 - ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、物価高騰対策等を行うため追加の補正を行いました。
 - ・学校給食費の保護者負担軽減（2～3学期を無償化） 3、961万円

- ・学校給食費食材費高騰分補填 239万円

- ・生活困窮世帯緊急生活支援金給付 3、860万円

- ・公共交通事業者への燃料費補助等 1、335万円

意見書

- ◎原油や物価高騰への更なる対策を求める意見書

ウクライナ問題をはじめ国際情勢は今後も先行きが見通せず、新型コロナウイルス感染症の蔓延も予断を許さない状況であるため、国におかれては、地域経済並びに国民生活の状況を常に注視し事態に即した更なる対策を求めるとの趣旨で全会一致で可決されました。（詳しくは15ページへ）

常任委員会の様子

総務産業常任委員会

ふるさと納税について（企画財政課）

Q 厳しくなってるのは、共通返礼品の見直しで仕方がないが、今後県が、ふるさと納税事業に力を入れるという話が出ています。どう対応するのか。

A

県には、市長会から抑止力というか、そういうかたちで意見させていただくということでは、市長会ではまとまりました。ふるさと納税の返礼品については、富士川町のほうと協定を結ばせていただき、シャインマスカットを使わせていただくことになっております。ご承知の通り、やはりシャインマスカットが一番人気ですので、囲い込み

が始まっています。ですので一番いいのは、大月市で作ることになります。さらに、今あるものをどうやってPRしていくかということで、宣伝PRの方を強化していくということを考えております。



コミュニケーション助成事業について（企画財政課）

Q この宝くじ助成金事業を各地域がみんな知っているのか。

A 次の申し込みが10月の締め切りであるので、9月の広報とホームページ

社会文教常任委員会

猫不妊・去勢手術助成事業について（市民課）

Q 頭数をどのように見込んだのか。ずっとやっていく事業なのか。

A 単年度で終わる1年ものの事業になっております。大月市の予定数としては264匹で、330万円という予定額を県の方に示していただいたという経過です。野良猫につきましては、ボランティア団体と公益財団法人どうぶつ基金がやっておりますので、今回は飼

富浜公民館・出張所について（社会教育課）

猫も含めて、そういう手術の対応を補助金でするという流れになります。ちよっと枠が広がるという解釈になります。

Q 建築費が高いが。

A 建設資材が高騰しているためです。特に木造建築でございまして、ウッドショック等の影響によりまして、木材単価が1.5倍から1.7倍ぐらい高騰している影響がございします。

Q 他の工法等コスト検討はしたのか。

A 鉄骨造についても資材価格が1.4倍というように形が上がっていることを確認しております。当然今現状を考えれば、木造は高騰しているわけですので、



富浜公民館・出張所完成イメージ図

当てられる財源や地元の要望等も加味した中で、木造建築で進めてきたという状況でございます。



市政を問う



市議会のページは
こちらから

6月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 西室 衛議員 (大月改新の会 & 公明) 8 ページ

- ①食材費高騰による学校給食費への支援策は
- ②大月バイパス全線開通に伴う渋滞緩和策は

(2) 山田政文議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 9 ページ

- ①中央病院への Wi-Fi 整備と信頼される病院とは
- ②移住者への支援制度等について問う

(3) 鈴木基方議員 (山と川の街大月) 10 ページ

- ①近隣とのさらなる連携を図りつつ、新たな枠組みを
- ②岩殿山のトイレ事情の緊急性は高い

一般質問

(4) 藤本 実議員 (日本共産党 所属) 11 ページ

- ①学校給食費の時限的な引下げ・無償化を
- ②再エネ普及に向けて調査費が必要では

(5) 棚本晃行議員 (山と川の街大月) 12 ページ

- ①ウォークアブル推進事業を活用した取り組みを
- ②HPVワクチン積極的勧奨再開への対応は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（9月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>）で閲覧することができます。

令和4年6月定例会

議決結果等一覧表

賛成○ 反対× 退席― 欠席／ ※相馬保政 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原剛	奥脇一夫	小泉二三雄	西室衛	小原丈司	藤本実	山田政文	相馬基方	鈴木久雄	安藤和喜	志村晃行	棚本晃行	結 果
報告	専決第2号	大月市税条例等の一部を改正する条例													承認
	専決第3号	大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例													
	専決第4号	令和3年度 大月市一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決第5号	令和3年度 大月市簡易水道特別会計補正予算（第3号）													
	専決第6号	令和4年度 大月市一般会計補正予算（第1号）													
	専決第7号	令和4年度 大月市一般会計補正予算（第2号）													
補正	第30号	令和4年度 大月市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第35号	令和4年度 大月市一般会計補正予算（第4号）													
その他	第31号	動産購入の件（自治体情報セキュリティ強化更新用機器及びソフトウェア購入）													可決
	第32号	動産購入の件（高規格救急自動車購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第33号	動産購入の件（救急資機材購入）													
	第34号	市道の路線一部廃止の件													
人事	第36号	山梨県東部地域公平委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	第37号	大月市恩師県有財産保護財産区管理会委員の補充選任について同意を求める件													
意見書	第4号	原油や物価高騰への更なる対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

表彰・感謝状の受領おめでとうございます

全国市議会連合会・山梨県市議会連合会の各会長より、次の方々が表彰を受けられました。
また、相馬保政議長が全国市議会連合会の会長より、感謝状を受領されました。



相馬保政 議員



藤本 実 議員

◆全国市議会連合会・山梨県市議会連合会
正副議長2年表彰
◆全国市議会連合会
社会文教常任委員会委員長
国と地方の協議の場等に関する特別委員会

◆全国市議会連合会・山梨県市議会連合会
議員勤続10年表彰



大月改新の会&公明

西室 衛

Q 食材費高騰による学校給食費への支援策は

A 2、3学期の給食費を全額無償化支援する

問 4月26日に閣議決定されました地方創生臨時交付金の使途について伺います。地方創生臨時交付金は、コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策において各自治体の判断で様々な事業に活用することができ、生活者や事業者を支援して

いくことを目的とするものです。各地で食材費高騰による学校給食費への支援等が進んでいます。本市での学校給食への支援策等があります。

答 市長

地方創生臨時交付金の使途についてのうち、各地で食材費高騰による学校給食費への支援が進む中、本市の取組はについてであります。本市においては、学校給食費における保護者の負担軽減を最優先と位置づけました。保護者への負担軽減の方法としまして、1食当たりの負担額に一定割合を乗じて減額する一部負担の方法をはじめ、期間についても一カ月や1学期を単位として無償化する方法などがありますが、令和4年度の2学期、3学期を合わせて133日間の全期間、全額を支給する決断をしました。この133日間の本来徴収すべき保護者からの学校給食費負担金は3、961万円となり、さらに給食センターでの同期間中の食材の仕入れ価格上昇分239万円も加え、臨時的ではありませんが、支援する予定です。



学校給食の様子

Q 大月バイパス全線開通に伴う渋滞緩和策は

A 警察署と連携を図る中渋滞対策を検討する

問 大月バイパスは市民の長年の期待の下、市街地の渋滞緩和等を目的に4月23日に全線が開通しました。開通後から国道139号都留高校南交差点付近における朝夕の渋滞が発生する状況となっております。早急に改善が必要と考えますが、渋滞緩和策を伺います。

答 産業建設部長

国道20号大月バイパスは、大月市駒橋から大月町花咲までの区間をつなぐバイパス整備事業で本年4月23日に全線開通しました。しかし、全線開通後、国道139号との交差点である都留高校南交差点を先頭に、朝夕の時間帯において渋滞が発生しており、市民からも渋滞への苦情や解消を求める声が寄せられておりますことから、本市からは道路管理者である国土交通省に交通状況の検証を行うよう依頼しました。

国土交通省としても全線開通後の混雑状況を喫緊の課題として捉えており、これまでに通過車両の交通量調査を2回実施したところであります。この調査結果を基に交通状況の分析を実施し、警察署との連携を図っていく中で渋滞対策を検討していくとともに、継続して調査を実施するなど交通状況に注視していくこととしております。



大月改新の会&公明

山田 政文

Q 中央病院へのWi-Fi整備と信頼される病院とは

A 安心して医療を受けられること

問 中央病院へのWi-Fi整備を期待しますが、いかがでしょうか。次に、市民から信頼される病院とはどんな病院とお考えか。

ですが、患者サービスの向上のため検討を進めるよう要望していきたい。

次に、市民から信頼される病院とはについてであります。中央病院では、市民の皆様安心して医療を受けていただけることが信頼される病院であると考えております。

Wi-Fi整備は現在具体的な導入計画は未定とのこ

答 市民生活部長

Q 移住者への支援制度等について問う

A 住宅取得助成や無利子融資制度がある

しての役割を果たしながら常勤医師の確保、リハビリテーション提供の強化、効率的な医療機器の整備など

様々な改善を進めてまいりました。本年度につきましても、適切な病院運営を進めております。

問 移住者が住宅の取得などをする場合どのような行政サービスがあるのか。次に、新規就農した場合、無利子融資などスタートアップのための支援策はどのような制度があるのか。また今後どのような支援が考えられるのか。

答 産業建設部長

市外から新築を取得した場合に最大150万円、中

古住宅を取得した場合に最大20万円、家賃助成として新婚世帯、子育て世帯を対象に月額最大1万円を2年間、空き家バンク制度を利用して購入した物件をリフォームする場合に最大10万円、一定要件を満たした空き家、空き店舗を活用して小売や飲食などの営業を始める場合に最大54万円を助成しております。また、国や県の助成金制度を活用した移住支援金制度につきま

しては、都市部から本市に転入し、一定の要件を満た

す場合には最大100万円を助成する制度があります。新たに農業経営を開始する青年等を対象とした日本政策金融公庫による資金である青年等就農資金については、認定新規就農者の認定を受けることで融資限度額3、700万円、返済期間17年以内で、うち据置きが5年、無利子で融資を受けることができる制度となっております。

今後は農地の取得などについても支援を行ってまいります。



大豆畑を耕作中の移住者の皆さん（猿橋町小篠）



山と川の街大月
鈴木 基方

Q 近隣とのさらなる連携を図りつつ新たな枠組みを

A 広く働きかけを行いたい

問 人口減少社会の中、地域活性化を目的としつつ、事務の効率化、機構の効率化、議会の効率化を考えると、最も適した方法は広域連合という枠組みである。もはや3市3村という枠組みを考えることは難しいが、近隣とのさらなる連携を図りつつ、

新たな枠組みを考えていくべき。

答 市長

今後人口減少や厳しい財政状況が見込まれる中、本市の広域行政に対する基本的な考え方は、各種事務や業務について研究し、広域で共同事務を進めることで

効率的な行財政運営が図られ、経費の削減につながり、参加自治体が互いに利益を受けられるものと考えており、広域連携は重要であると認識しています。

また、隣接の自治体だけでなく、広い範囲にも目を向けることで、広域連携は発展的可能性も秘めていると認識をしています。基本的には3市3村をベースとしながらも、広く働きかけを行いたいと考えております。

再質問

問 自治体内に地域間格差をもたらしただ例も多い平成の大合併が疑問視される中、基礎自治体としての機能の維持の重要性、大月市を維持していくということの重要性も考える必要があるが。

答 市長

人口減少時代の中で本市

Q 岩殿山のトイレ事情の緊急性は高い

A 新年度以降、計画に基づき整備を実施

問 岩殿山のトイレ事情の緊急性は高いと言えるが。

答 総務部長

市内の登山道を含め観光地に設置していますトイレについては、老朽化し改築や改修が必要なものもあり、岩殿山への新たなトイレ設置を含め、老朽度や利用度などを勘案する中で優先順位をつけ、新年度以降、計画に基づき整備を実施していきたいと考えています。



岩殿山

一般質問



藤本 実
日本共産党 所属

Q 学校給食費の時限的な引下げ・無償化を

A 2、3学期の学校給食費全額を支援する

問 臨時交付金の拡充により創設される物価高騰対応分を活用し、学校給食等の保護者負担の軽減のため、学校給食費の時限的な引下げ・無償化を。

は、以前からご指摘をいただいておりますが、本市の財政状況を勘案すると容易に導入することができない状況にあります。しかしながら、このたび地方創生臨時交付金によって、期間限定ではあります、2学期と3学期の学校給食費全額を支援したいと考えております。

答 市長

恒久的な無償化について



おいしい学校給食

Q 再エネ普及に向けて調査費が必要では

A 県内の取組状況を踏まえて対応したい

問 脱炭素の本気度が問われています。再生可能エネルギー普及に向けて調査費が必要ではありませんか。9月定例会には補正予算が組まれるのでしょうか。

答 市民生活部長

本市の取組は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体の実行計画としまして、平成31年度から令和5年度を計画期間とする第4次大月市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）により推進しているところであります。近隣市におきまして、今年度地球温暖化対策実行計画の区域施策編の策定のため、地域再生エネルギー導入へのポテンシャル等の調査を予定しているとのことである。



その他の質問

問 速やかに再エネ100%エリアを実現し、RE100加盟の企業誘致を

問 そのために、再エネ100%エリア実現のための協力体制を発電所事業者と構築すべきだ

問 断熱、省エネのための店舗・住宅リフォーム助成制度創設を



山と川の街大月
棚本 晃行

答 市長

Q ウォーカブル推進事業を活用した取り組みを A 中心市街地の賑わいに有効であると考え、検討を進めていく

問 国は、車中心から人中心の空間に転換する、まちなかの歩ける範囲の区域における取り組みを支援する事業として、まちなかウォーカブル推進事業を創設しました。コロナ禍を乗り越える新しい日常の定着にもつながる事業として全国各地で取組

が始まっています。中心市街地のにぎわいを取り戻すためにも、まちなかウォーカブル推進事業を含む、居心地がよく歩きたくなるまちなかづくり支援制度を活用し、本市でも取組を進めていくべきと考えますが、市の見解を伺います。

議員ご提案のまちなかウォーカブル推進事業は、まちなかのゆとりとにぎわいを取り戻す、人間中心の空間をつくる事業で、公共空間と沿道建物等を官民一体でリノベーションするなどハード施策やオープンスペース等の社会実験などのソフト事業が実施できるもので、旧国道20号の道路空間活用も含めた大月市中心市街地のにぎわいづくりに有効な事業であると考えられます。

今後地域の代表者や商店街関係者などの意見を伺う中で、地域の課題に対してまちなかウォーカブル推進事業のどのメニューが活用できるかも含め、勉強会を通じて、居心地がよく歩きなくなるまちなかづくりの実現に向け、検討を進めてまいります。

Q HPVワクチン積極的勧奨再開への対応は

A 通知を発送し、情報提供を行なっている

問 本年4月より積極的勧奨が再開されたHPVワクチンについて、戸惑いを感じる声も聞かれ、丁寧な説明が必要だと考えます。本市における対応状況を伺います。

答 子育て健康課長



ウォーカブルシティイメージ
(参考：国土交通省)

HPVワクチンは子宮頸がんの予防ワクチンとして、感染前に接種することにより、その予防効果に関して高い有効性が示されています。HPVワクチンの接種については継続的に議論がされていた中、令和3年11月の専門家会議におきまして、安全性について特段の懸念が認められないことが改めて確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、令和4年4月1日から積極的勧奨を再開したところです。

本市においては、接種の対象となる282名の方に、個別に予診票やリーフレットなどを同封した通知を4月28日に発送しております。さらに、通知には、予防接種による副反応や健康被害救済制度等について記載した説明書とHPVワクチンに関する相談先一覧も同封し、ワクチンの有効性、安全性についても情報提供を行っています。

物価高騰に歯止めを！意見書提出

◎原油や物価高騰への更なる対策を求める意見書を全会一致で可決

新型コロナウイルス感染症の蔓延により社会経済活動が制約されるなか、ロシア・ウクライナ問題等を巡る国際情勢は、日本社会にも大きな影響をもたらしている。

世界的な原油価格の高騰、原材料・資材、食料等の高騰・不足の影響は、企業や事業者、生産者の経営に打撃を与え、コロナ禍からの経済社会活動の回復の足取りが大きく阻害されている状況である。

また、食料や生活関連商品などの物価の高騰は国民生活を直撃し、更なる地域経済の悪化や地方自治体の行財政運営の深刻化をもたらしている。

このような状況の中、政府においてはコロナ禍

記

1 原油や生活関連物資等の価格動向とその影響を注視し、迅速かつ機動的な追加対策を講じること。

2 農林水産業、商工業、交通運輸産業、食品産業等、産業界全体に対する原油価格高騰の影響を緩和するための総合的な支援策を的確に実施すること。

3 生活困窮者への支援を講ずること。

4 原油等、エネルギーを輸入に依存しない為の新エネルギー等の開発を更に進めること。

5 食料、資材、原材料等

国内自給率を上げるため、更なる施策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

(令和4年6月24日)

*意見書の全文及び提出先につきましては、大月市議会のホームページをご覧ください。



市議会のページは
コチラから

残暑お見舞い
申し上げます



議長	相馬 保政
副議長	山田 政文
議員	小泉 二三雄
(監査委員)	
議員	萩原 剛
〃	奥脇 一夫
〃	西室 衛
〃	小原 丈司
〃	藤本 実
〃	相馬 力
〃	鈴木 基方
〃	安藤 久雄
〃	志村 和喜
〃	棚本 晃行

議員はあいさつ状を出す
ことが公職選挙法で禁止
されています。
(自筆による答礼は除く。)

議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

5月

22日	山梨県水防訓練
24日	全国市議会議長会 第227回理事会
25日	全国市議会議長会 第98回定期総会
27日	議会運営委員会

6月

3日	全員協議会
	令和4年第2回市議会定例会 開会
17日	代表質問・一般質問
21日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
23日	社会文教常任委員会
24日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和4年第2回市議会定例会 閉会
29日	意見交換会（大月市小中校長会と市議会）

7月

11日	山梨県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会
21日	令和4年大月都留広域事務組合議会7月定例会
29日	市議会広報委員会

8月（前半）

1日	リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会令和4年度総会
3日	山梨県高速道路整備促進期成同盟会令和4年度通常総会
4日	令和4年第2回東部地域広域水道企業団議会議会
8日	市制施行68周年記念表彰式

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様様に親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。
※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

9月定例会の日程（予定）

●開会日	9月1日
●代表質問	9月14日
●一般質問	
●一般質問（予備日）	9月15日
●閉会日	9月28日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルスは未だ収束せず、私たちの生活に様々な影響を与えている。教育の場も例外ではないが、今回の大月市小中校長会との意見交換会では、タブレット端末等を活用しながら、子供たちとともに新たな学びの可能性を探るICT教育の現場を見ることができた。コロナ禍の難しい状況ではあるが、子供たちが安心して学べる環境が整うことを願わずにはられない。
（担当 安藤久雄）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会
広報委員会

委員長	棚本 晃行
副委員長	藤本 実
委員	西室 衛
委員	鈴木 基方
委員	安藤 久雄
委員	志村 和喜



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。